

第5回 東京大学 IRT 国際シンポジウム

少子高齢社会を支援するための IRT ソリューション

日時：12月3日(木) 13:30 開場 13:45 開会 17:00 閉会
 会場：東京ビッグサイト 609 会議室 (国際ロボット展併催事業)
 主催：東京大学 IRT 研究機構

13:30 開場

13:45 セッション1



主催者ごあいさつ

下山 勲 東京大学 IRT 研究機構 機構長

1982年東京大学工学部にて学位取得。工学博士。1982年東京大学講師、1983年東京大学助教授、1998年東京大学教授、2007年 IRT 研究機構長。ロボティクスと MEMS の研究に従事。



北欧（デンマーク）における高齢化社会への取り組みの最新動向①

Kasper Hallenborg 南デンマーク大学 Maersk Mc-Kinney Moller 研究所 所長

テクノロジーによる高齢者支援のための研究機関において、ロボットや福祉技術の開発プロジェクトを統括。スマートフォンやテレプレゼンスロボットを介した認知症患者や COPD 患者のためのトレーニング、指導。空港における大量の荷物の処理を可能とする新しい荷物システムなどを開発



北欧（デンマーク）における高齢化社会への取り組みの最新動向②

Joost Nijhoff オーデンセ市ロボットビジネス開発担当

ロボティクスとデジタルパブリッシングの専門知識を持つビジネス開発担当者として、ヨーロッパにおける官民パートナーシップを推進。2010年より IT とロボティクス分野の日本の企業との長期プロジェクトにも従事。高齢者の独立した生活をサポートするための研究開発を推進する EU の SILVER プロジェクトの評価委員を務める。



病院から人・患者へ ~センシング技術とビッグデータを活用したデータ医療への取り組み~

柳沼 義典 富士通研究所応用処理研究センター次世代医療研究所 所長

リケーション、データマイニングの研究開発に従事。1999年から2000年まで、英国 Imperial College 訪問研究員。2009年よりヒューマンセントリックコンピューティングの技術開発、現在、次世代医療実現に向けて研究開発中。



生活支援ロボット H S R (Human Support Robot) のプラットフォーム展開

山本 貴史 トヨタ自動車株式会社パートナーロボット部先行開発室 室長

1992年トヨタ自動車(株)入社、車両制御系開発、愛知万博トヨタパビリオンのロボット開発を経て、2006年 TOYOTA MOTOR EUROPE NV/SA 出向、2009年よりトヨタ自動車(株) パートナーロボット部にて人共存ロボットの研究開発に従事

15:15 セッション2



アクサにおける研究支援活動について (仮)

松山 明弘 アクサ生命保険株式会社 執行役員 チーフ・インベストメント・オフィサー

1983年朝日生命保険相互会社入社。国際部、ニューヨーク現地法人、特別ファンド運用室、朝日ライフアセットマネジメント株式会社部長、資産運用企画部企画グループチーフなど運用部門全般に従事。2002年アクサ生命保険株式会社入社。ALM 部長を経て2010年1月より現職。



現場への支援機器導入促進に向けた科学的臨床評価の取り組み

白銀 暁 国立障害者リハビリテーションセンター研究所 福祉機器開発部 福祉機器臨床評価研究室長

病院・介護老人保健施設勤務の理学療法士からスタートして機械工学を学び、リハビリテーション科学総合研究所研究員(関西リハビリテーション病院リハビリテーション工学士兼務)、埼玉県立大学講師を経て、2014年より現職。福祉機器の開発支援および利活用拡大に向けて、科学的な臨床評価の推進に取り組む。



高齢者の社会参加と就労を支援する「高齢者クラウド」における ICT/IRT

檜山 敦 東京大学大学院 情報理工学系研究科 特任講師

2006年、東京大学より博士(工学)取得。博士論文では携帯端末と位置情報システムを開発し、博物館での鑑賞行動に応じた音声ガイドシステムの研究を、2004年に国立科学博物館にて世界初のユビキタスコンピューティングのミュージアム展開「ユビキタス・ゲーミング」として紹介される。80日間で2万人の体験者を得た。テクノロジーの社会展開に関心を持ち、現在は情報通信技術、ロボット技術を活用し、高齢者の社会参加・就労を支援する「高齢者クラウド」の研究開発を展開している。



IRT を活用した日本の生活支援技術をグローバルに

松本 潔 東京大学 IRT 研究機構 特任教授

1987年東京大学大学院工学系研究科修士課程修了。工学博士。1987年株式会社日立製作所中央研究所研究員、光ディスク装置の研究開発に従事。1995年東京大学大学院工学系研究科助手。2000年同助教授。2007年 IRT 研究機構特任教授。IRT 技術を用いた高齢社会支援技術の研究に従事。

17:00 閉会